

当事者会の取組状況

当事者会 会長 福西 義信

Ⅰ 当事者会の目的

1. 当事者会の目的

吹田市地域自立支援協議会の目的

- 障がい者等が、自立し安心して日常生活や社会生活が営むことができる地域社会の実現
- 支援体制等に関する諸課題について、障がい福祉関係機関等が協議・協働すること
- 障がい者等への包括的な支援ネットワークの充実を図ること

当事者会 3つの目的

- 1、地域会議、専門部会と連携すること
- 2、地域の障がい者等との連携を図ること
- 3、障がいに関する理解啓発の取組を行うこと

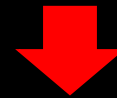
1.当事者会の目的

当事者会の構成

- 役員会 ▶ 会長1名・副会長3名で構成。
毎月1回開催。
- 定例会 ▶ 当事者会の委員14名で構成。
毎月1回開催。

基本テーマ

防災 (2023~)



- 障がいに関する理解啓発の取組を行うこと



2 具体的な協議内容

2024年度（令和6年度）

2. 具体的な協議内容

2024（令和6）年度の会議開催状況（2025年3月現在）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
役員会	● 4/9	● 5/7	● 6/4	● 7/2	● 8/6	● 9/3	● 10/1	● 11/5	● 12/10	● 1/7	● 2/4	● 2/25
定例会	● 4/18	● 5/16	● 6/20	● 7/18	● 8/22	● 9/15	● 10/17	● 11/21	● 12/19	● 1/16	● 2/13	● 3/6
ハンドブック					初稿		第二稿		最終稿			公開版
その他活動		5/30 BF推進協議会 (万博競技場周辺BFC)	6/24 吹田市地域自立支援協議会全体会	7/25 精神障がい者にも対応した包括支援部会	8/26 BF推進協議会	9/9 内本町地域会議		11/18 BF推進協議会 11/21 茨木市当事者会交流会	12/19 バリアフリー吹田市民会議	1/16 千里山・佐井寺地域会議 ちさと図書館見学会 1/30 差別解消支援部会		3/21 BF推進協議会 3/24 地域自立支援協議会全体会

- 定例会議題検討・目的の共有等
- ハンドブックに関する意見交換・活動報告・普段の困りごとや条例・制度での情報交換等

2. 具体的な協議内容



当事者会の目的

1、地域会議、専門部会と連携すること

会議体種別	開催日時	会議体名・内容など
地域会議	2024（令和6）年 9月9日	内本町地域会議（ポスター作製・オブザーバー参加）
	2025（令和7）年 1月16日	千里山・佐井寺地域会議、ちさと図書館見学会
専門部会	2024（令和6）年 7月25日	精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム専門部会 （当事者会推薦）
	2025（令和7）年 1月30日	障がい者差別解消支援専門部会（当事者会推薦・市民参加）

2. 具体的な協議内容



当事者会の目的

2、地域の障がい者等との連携を図ること(審議会委員)

- 2024(令和6)年 5月30日 バリアフリー推進協議会 (公園東口周辺BFC)
- 2024(令和6)年 8月26日 バリアフリー推進協議会 第1回
- 2024(令和6)年11月18日 バリアフリー推進協議会 第2回
- 2024(令和6)年12月19日 バリアフリー吹田市民会議
- 2025(令和7)年 3月21日 バリアフリー推進協議会 第3回

バリアフリー推進協議会 5名選出 バリアフリー吹田市民会議 2名選出

2. 具体的な協議内容



当事者会の目的

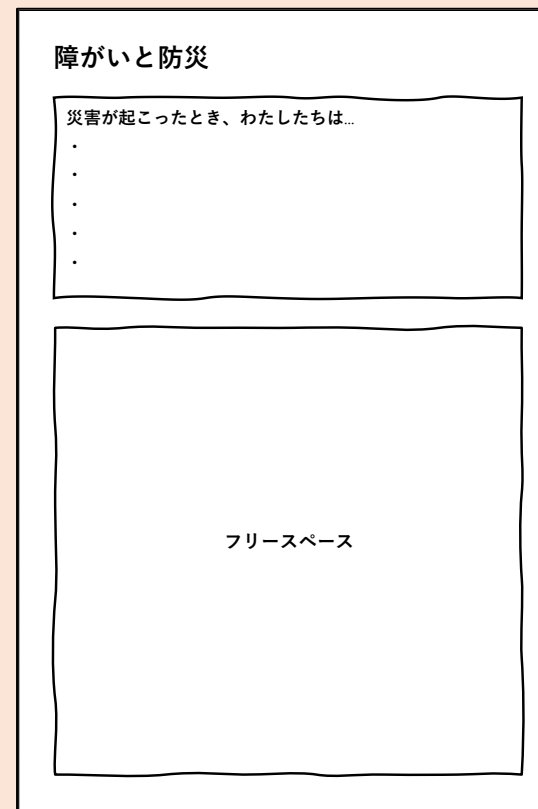
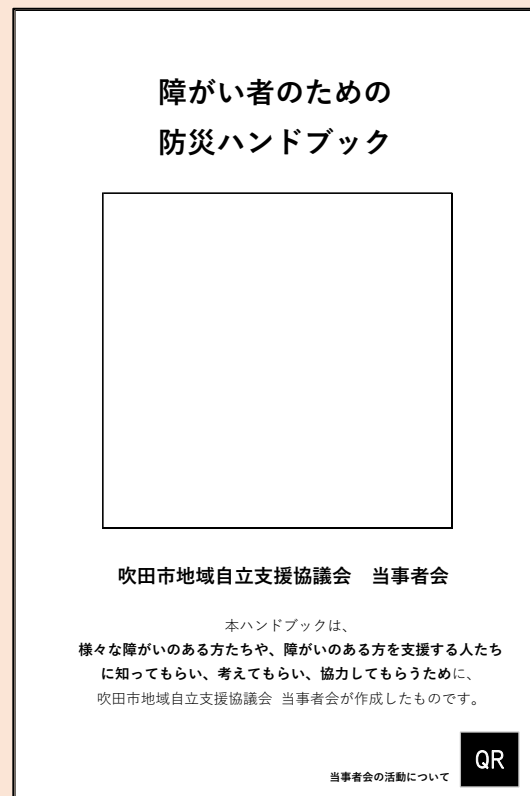
3、障がいに関する理解啓発の取組を行うこと

目標	取組内容
長期目標	障がい者の目線による防災ハンドブックの作成
短期目標	3度の出前講座 2023(令和5)年度達成！

当事者における災害・防災・減災とは？

2. 具体的な協議内容

- 2024（令和6）年2月「障がい者防災ハンドブック」たたき台を作成



2. 具体的な協議内容

2024（令和6）年度の会議開催状況

2025（令和7）年3月現在

● 「防災ハンドブック」に関する意見交換

イラストの使用許可は？

レイアウトは？

文字の大きさや色^{（赤）}の使い方は？



ブックの大きさ^{（黄）}は？

当事者会としての特徴は？

2. 具体的な協議内容



- 障がいに関する理解啓発の取組を行うこと（防災意識を持つ）

取組内容	目標
障がい者の目線による防災ハンドブックの完成	長期目標達成
防災ハンドブックの発行（初版300部）	2025（令和7）年 4月



3 その他の取組状況

3. その他の取組状況



- 当事者会定例会傍聴による一般公開
- 2024（令和6）年11月 「茨木市当事者部会」との交流会の様子



3. その他の取組状況

障がいに関する理解啓発の取組 (吹田市社協CSWとの連携)

2024（令和6）年11月 吹田第2小学校における 人権・福祉教育の様子（島委員）

今月中旬、母校の小学校の人権講演会「心のバリアフリー」の講師に招かれました。児童に向け「おっちゃん小学生のころ、背が低くて一部の同級生からチビと言われていました。言った方は「からかい」のつもりでも私は嫌でした」と当時の苦い体験を明かしました。今なら「いじめ」かもしれない。私の思いとしては「いじめられる方」ではなく「いじめめる方」が断然悪い。講演では、私が大人になってから病気が高

児童らに伝えた「車椅子は私の足」

元市会議員 島 晃69（大阪府）



秋の味覚

じて障がい者になり長らく車椅子生活をしていることなども紹介。「車椅子は私の足。東京や沖縄など全国どこへでも行けます」と言い、児童の前で体育館を一周してみせました。

続けて「障がい者イコールかわいそうではありません。困っている人がいたら、見て見ぬふりをしないで声を掛けてください」と訴えました。質問コーナーでは、聴覚障がいのある児童から「耳のヘルプマーク」への質問もあり有意義な会でした。

母校で人権講演会

島 晃



われました。これはいじめですね。言った方はからかいのつもりでも、私はいやでした。いじめはいじめられる方は悪くありません。いじめめる方が100%わるい。
おっちゃんも病気で障がい者に、車椅子は私の足です。どこでも行けます。東京も沖縄も今から体育館一周します。皆さん車椅子のおっちゃんと呼んでください。どうか困っている人を見て見ぬふりをせんと、勇気を出して声を出してみる。障がい者もかわいそうではありません。

明けましておめでとうござい
ます。
昨年11月12日
に母校の吹田第
二小学校で、人
権講演会が開催
されました。テ
ーマは「心のバ
リアフリー」です。
生徒さんにお
っちゃんも背
が低く、小学校
の時にチビと言
われていました。

六中校区地域教育協議会だより

No.41

2024.12.21 発行

吹二小全児童が福祉教育

ヘルプマークと車イス



11月12日（火）吹二小全児童が体育館に集まり、3時間目に福祉教育の勉強を行いました。

最初内田校長先生から「ヘルプマーク」についてのお話があり、そのあと吹二小卒業生で近隣の泉町在住の島晃さんが自分で体験した車イス生活のお話がありました。

島さんのお話はユーモアもあり、児童たちは話に夢中になるほどでした。車イ

スに乗って体育館を一周すると「車イスのおっちゃん」と児童たちは大歓声になりました。
最後に数名の児童たちからの質問に自分の体験したことや答えられました。児童たちが少しでも福祉について関心を持てたらいいと思います。

広報部部長

寺本 英樹



障がい者児のための 防災ハンドブック

公開・説明へ続く